

令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 28-5

担当部局・担当課名: 教育委員会 教職員課

事業名	「とやまで教員」応援事業	評価結果	一部改善
-----	--------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・危機感を持って、あらゆる手を打ち志願者数を増やすことに取り組まなければならない。アプローチの方法があるにもかかわらず実施していない。ライバルは民間企業。民間企業がどのような戦略を取っているかを把握した上で、同じ土俵に立ち、その中で優秀な人材にいかに関山県の教職員に魅力を感じ取ってもらうか、その意識を持つことが必要。
- ・教育学部へのアプローチだけでなく、戦略を見つめ直す必要がある。
- ・働き方改革を実行し、よい職場環境にしないと、いくらリクルーティング活動をして、魅力に感じてもらえず、志願者数は増えない。
- ・組織のトップがどう情熱を持って取り組んでいるのかが見えるかどうかは大切なところ。
- ・人を採るにはコストがかかるもの。人を採ることにどれだけコストと労力をかけられるか。
- ・富山の教育現場からジェンダーギャップ(例: 女性の管理職割合向上)をなくすという明確なメッセージの発信を。
- ・UIJターンセミナーなどにも教育委員会としてブースを出して学生に直接PRすることで、口コミで熱意が伝わるのではないか。
- ・特別免許状や免許を持たない人など、潜在者層へのアプローチが必要。

【県民評価者の意見】

- ・優秀な教員を採用する取組みは、継続的に取り組んでいく必要がある。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	11
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (効果がないからやめる)	役割分担 見直し (市町村単位でもやる)	抜本的改善 (直接志願者増につ ながっておらず、仕組 みから大きく変える)	一部改善 (基本的には今までの やり方で、フォローアッ プ、状況分析をする)	現行どおり ・拡充 (今までどおりやる)
	0	0	2	7	2
県民 評価者 の 主な 評価 シート コメント	【一部改善】 ・トップセールスが必要。 ・多忙な教員のケアを含めて、公認心理士を採用するなど双方に魅力ある職場へ。 ・優れた教員を継続して確保していくことは非常に大切。 ・教員免許が取得しやすい制度とならないか。 ・応募者減少の根本原因を探り、対策をすればよい。 ・セミナー等の開催に加え、人手不足の解消による勤務環境の改善等が必要。 ・教員免許を持ちながら民間で働く人材の掘り起こしが必要。 ・特別免許状により、教員免許を持たない民間人の登用の検討。				
	【抜本的改善】 ・忙しく、仕事が多く、給料の安い仕事に人が集まらないのは当たり前。多忙化解消としての専門人材の確保と、給料アップの方が大事。待遇を良くしてやりがいを上げるのが近道では。 ・教員の魅力ややりがいばかりをアピールしても、現状の問題を解決しなくては増えることはない。 【現行どおり・拡充】 ・魅力ある職業とするため、労働環境の改善を強力に推し進める。富山で教員になるメリットのアピール。				

事業名	「とやまで教員」応援事業	評価結果	一部改善
------------	--------------	-------------	------

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (効果がないからやめる)	役割分担 見直し (市町村単位でもやる)	抜本的改善 (直接志願者増につ ながっておらず、仕組 みから大きく変える)	一部改善 (基本的には今までの やり方で、フォローアッ プ、状況分析をする)	現行どおり ・拡充 (今までどおりやる)
	0	0	2	1	1
委員の 主な コメント 評価 シート	<p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転職サイトの企業展や地元就職に特化した企業展などに参加してはどうか。 ・トップセールス、リクナビ・マイナビ等の活用。予算の拡充。お金をかけるべき。 ・教育学部以外の学生へのアプローチが大切。 ・富山県が好きで残っている学生に、このまま富山で働きませんかという働きかけなど、地元の人も大切にしたい。 <p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用と縁がない学校の学生に周知を図る仕組みが必要。 <p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップセールスや様々な機会の活用は、やる気になればできること。 				

県の対応

今後の 対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	<p>○情報発信を強化するため、新たに教育長によるトップセールス、教員魅力PR動画を作成</p> <p>○新たに転職者への広報や県外出身者の県内での教育実習の支援を実施</p>				
R5当初予算で の対応	R5当初予算(案)	12,000(千円)	R4当初予算	8,600(千円)	増減額 +3,400(千円)
	増減理由	<p>・学生・転職者向けの「教員のイメージアップ動画」等の発信事業の充実によるもの</p>			

事業名	「とやまで教員」応援事業	評価結果	一部改善
------------	--------------	-------------	------

当初予算編成プロセスの見える化

令和5年度当初予算	要求状況	要求額	12,000(千円)	前年度予算額	8,600(千円)	
		事業の目的	教員の魅力発信や教員への転職者・教育実習生の確保に取り組む			
		事業内容	新たに「富山で先生になろう」応援事業として、新しい取り組みも加え、採用倍率3.0倍・全国中位を目指す。 ①教員UIJターンセミナーの開催 ②教員養成講座「TOYAMAていーちゃー'ず・カレッジ」の開催 ③教員の魅力発信事業【新規】 ・教員のイメージアップ促進動画を高校生や転職者等に広く発信 ④転職者の確保【新規】 ・転職フェアの参加や転職サイトへの求人広告の掲載 ⑤教育実習生の確保【新規】 ・県外出身の県外大学生の県内公立学校での教育実習履修を支援（R6からの支援を目指し周知）			
		積算内訳	①2,764千円、②4,800千円、③3,000千円、④1,436千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、情報発信の強化や、転職者等への効果的なアプローチに取り組むこととしており、適切に見直しが行われている。				
	最終的な予算案	予算額	12,000(千円)	/		
	要求時点からの変更点	変更なし				